

■「とりあえずトレース！」って言われてもどうしたらいいか困っちゃってる方に。

まず現時点での自分の力量をはかる必要があります。

ご自身が各手順にどれだけ時間がかかっているかを把握しましょう。

時間をはかるときには、できればストップウォッチを準備してください。

(時計兼用や、キッチンタイマーでもかまいません。)

最初のうちは概算で時間をはかればよいのですが、

最終的には1秒単位で時間短縮していかないといけなくなります。

それほどに 5.5 時間の中では1秒が大切です。

百均のは不正確なので購入はやめたほうがいいです。

で、まず何かしらの一式図をトレースします。

トレースの前に！

まずその図面を 5mm 方眼紙に 1/400 の単線で描いてください。

本番では自分の考えたプランを作図するからです。

1/200 を見ながらうつすのは、あまり意味がありません。

隣地からの空き距離、駐車場や駐輪場の位置、各室の位置と室名、出入り口の位置など、

自分が 1/200 で作図するのに必要な情報を 1/400 に盛り込みましょう。

丁寧でなくていいです。自分がわかる程度で。

それが終わったら、作図をします。

ポイントとしては、

- ・大きなところから描いていくこと(エスキスを考えるときと同じです)
 - ・平行定規を動かす回数を減らすこと
 - ・同じものはまとめて描くこと(文字はまとめて、とか)
 - ・リズムをもって描くこと
 - ・各図面、面積表をまんべんなく仕上げること(未完成を防ぐため)
- などが挙げられます・

柱を描くための仮線は各階分をまとめて描く。ついでに、断面の仮線も描く。

コア(階段とEV)も各階分をまとめて描く。ずれてしまうと失格です。

踏面とかEVの中身はそのときにまとめて描いても、後から描いてもいいです。

自分にあうやり方で。

平行定規を動かす回数が増えると余計な時間がかかってもったいないので、

縦線なら縦線のみ、左→右でも右→左でもかまわないので描きます。

横線なら横線のみ、同様に。

ちなみに私は仮線を描かない派です。

そのかわり、最初に寸法線を描きます。

その寸法線を使って柱を描いてしまいます。
で、柱を描き終わった後にちょっと顔を離して俯瞰します。
たまに一列ずれてたりするので、その列だけ消して直したりします。
これも自分にあうやり方で。
なるべく消さないで済み、自分にあう方法を選択してくださいね。

線は1本のシャーペン(鉛筆)で最低でも2本、薄いのと濃いのが描けるようにしましょう。
シャーペンの角度や筆圧を変えることで描けるようになります。

柱→壁→開口部→間仕切→室名というのが一般的な作図手順です。
間仕切を描くときに、室の入り口は壁を描いた後に消すのか、
最初からあけて描くのか、という疑問が生じるかと思いますが、
どちらでもかまいません。
両方試して、早く描けるほうを採用してください。

一度時間をはかりながら試した後、
自分の目標とする各手順にかかる時間(合計したら、チェック込みで3時間とってください)と
比べて見ましょう。

で、時間短縮する必要がある部分。
これを毎日、練習します。多分、1時間ずつくらいは練習しないと早くならないと思います。
目標の時間内におさまるようになったら、基礎練習を毎日、続けてください。
その頃になると、エスキスに時間がかかって、作図する時間がなくなったりします。
でも、初受験の方の場合、作図は描かないと、どんどん遅くなります。
角番の方でも1週間以上あけるとどんどん遅くなります。

基礎練習というのは、7×7で、毎日5つ、階段とコアのセットを描く、とか、
15分間だけ、柱と外壁と窓を描く、というような練習です。
その日の学習の終わり、寝る前にちょっとだけ、って感覚でできますよね。

とりあえず、まずは1枚描いてみましょう。
初めての方は時間がかかって当たり前です。
私の知っている方々の話をまとめると、
初めての一式図にかかった時間は5時間～13時間と、人それぞれです。
(ちなみに私は9時間・・・平日3時間ずつ、3日にわけて描きました)

■なかなか作図が早くならないよ～、という方に。

線をひくスピードが遅いのではないですか？
動作と動作の間に無駄な動きがありませんか？
手が止まっていますか？

多分、やっている間は、ご自分で気づいていないことがあります。
まわりに見ていただける方がいらっしゃるなら、作図している姿を見ていただいでください。
いらっしゃらないなら、ビデオにとるなどして、自分で分析してみてください。

■フリーハンドで描くよ！という方に。

これについては、課題文の右下、要求図面等のところに『(フリーハンドでもよい)』と書いてあるかどうかをまず確認しましょう。
近年、書いてなかった年はないですが。
で、描いたら、近年の受験経験のある方に必ず見ていただいでください。
そういう方がいらっしゃらない場合は、ご自分が定規で描いた図面と並べてみてください。
それをすることによって、フリーハンドを採用できるか、
どの程度練習すればフリーハンドでいけるか、が見えてきます。

■断面図が早くならない方に。

断面図は 15 分程度で描けるとよい、といわれます。
でも、なかなか早くならない・・・当然です。
断面図は平面図に比べて圧倒的に描く回数が少ないからです。
一式図 10 枚描いたとしたら、平面図は 20 回以上、もしかしたら 30 回も描くのにも、
断面図は 10 回以下です。

1 週間、毎日同じ断面図を描いてみましょう。
描き方をいろいろ変えてみて、自分が一番早く描ける描き方を採用してください。
私はちまちましたのが嫌いなので、先に片付けてから、長い線を描きます。
長い線を一気に描くときはとても気持ちがいいです(笑)

ちなみに「断面図キライ」って方もいらっしゃると思います。
平面図もある意味、断面なんですけど・・・
空間を横に切るか、縦に切るかの違いだけです。
そう思えるようになると苦手感が少なくなりますよ。

■字が汚くて「どうしよう」と思っている方に。

文字の終わりをさっとハネていませんか？
ハネないで、おさえて止めるだけでぐっと見栄えがよくなります。
もつという、すこし平べったくなるようなイメージで上から押さえるような感じに書けば、
きれいに見えます。
方眼に沿って曲がらないように書いてみてください。

字がきれい、汚いは問題ではありません。

しばらくの間、「伝えよう」という意識を持って書くようにしてみてください。

ちなみに、課題文に「便所」と書かれているのに「WC」と書いたりとか、

「倉庫」と書かれているのに「ソーコ」と書いたりするのはやめましょう。

人間ですからミスがあっても当然なのですが、

必ず課題文にかかっている言葉を、可能な限り正確に図面に表現してください。